





和歌出所附 詩歌作者附

# 和朝歌集卷之四

帝畿 書林 水玉堂版

正二位前按察  
大納言公任又号四条大納言  
小野宮大臣實賴号清真公  
三條太政大臣賴忠号麻義公  
權大納言公任母代明親妻  
權大納言定頼  
此朗詠集上下卷八  
八王六十六代一条院  
ノ御宇集ノ撰ル、  
書ナリ能書ニテ  
和漢ノ戈アリシ之  
十五番哥合三十六  
哥合新撰髓腦九  
品和哥金玉抄北  
山抄等ノ作ナリ





遠和漢韻採集ハ漢古和邦中在能詩人  
 家仙乃風雅多事久能大能之の撰也  
 於亦あり余持うがりたうくさる集ぬう  
 これハ能家能抄物す家う能去る能色  
 能事日能くその解る能一能よ能く  
 能事能の能也能い能ぬる能能能能能能  
 此集の大能と能う能う能う能う能う  
 實永三能集能春上旬

洛下水柳軒



倭漢朗詠集卷上

ヤトトタカラノ詩ヲウタヒモノニ アツメタリ書ト云心ナリ

此和漢朗詠集ハ人王六十一代  
 一條院ノ御宇四年大納言公  
 任卿ノ日本上唐ノ詩ヲ歌  
 フアツメエラミテ四季雜ノ次  
 第ヲ立テ上下二卷ニシテ

春

暮春

早春

春興

春夜

春日 付春景

春日 付花

暮春

二月盡

閏二月



鶯ういひと

梅ひめ付こころ紅こう梅ばい

躑躅けい

夏なつ

東衣かう

霞かすみ

柳やなぎ

款冬かんとく

首夏くびなつ

雨あめ

花はな付つ落らく花か

藤ふじ

夏夜なつよ

端午たんご

花橘はなたち

螢あき

穗あひ

孟秋もうしゅう

細涼さいりやう

蓬よもぎ

蟬せみ

早秋そうしゅう

晚夏ばんげ

郭かく下げ

扇あふぎ

七夕たなばた



秋具 あきぐ

秋暎 あきげん

秋夜 あきのよ

付中 つきちゆう

九月 つきづき

九月 つきづき

女郎花 むすめがはな

萩 はぎ

蘭 らん

榎 えん

蕨 わづ

紅葉 もみぢ

鴈 かり

虫 むし

麻 あし

鳥 とり

鳥 とり

持衣 もちえ

冬 ふゆ

初冬 はつとう

冬夜 ふゆのよ

歳暮 としごけ

烟火 えんくわ

霜 しも

白 しろ

氷 こおり

霞 あせ

仏名 ぶつな



# 春

春ハ養也虫ノウゴメクゴトク陽氣ニ  
万物ガウゴキキサス也。ハルトイフ  
和訓ハ陽氣ニムカヒテ万ノ草木ノ  
コノメハルト云心也

# 立春

年ノ内ニテモ年アケテモ冬ノセツカハリキ  
春ノセツニナルヲ立春ト云。元日ノコトハ心  
ウヘカラス此集ノ立春ハ年ノ立春トシルベシ

あつて 春ガセヲシタヒテ梅ノヒノミサキタタ。春ノ花ノサカチルベシ。時ヲ待テハスナリ。立春ノ氣ヲリテ

冬ノ内ノ春ガセヲシタヒテ梅ノヒノミサキタタ。春ノ花ノサカチルベシ。時ヲ待テハスナリ。立春ノ氣ヲリテ

いけのこけりのもうさういふせ 冬ノ内ノ春ガセヲシタヒテ梅ノヒノミサキタタ。春ノ花ノサカチルベシ。時ヲ待テハスナリ。立春ノ氣ヲリテ



柳花氣力條々動波流波文珠為穿

今自不知計會者凡志此一可友

夜向殘更空盤盡香少曉煙燃

コモ 年ノクレスツチニハルガキタリタタサハアルトモラフルトトイハカコトトイハカ

神ひらて法むしあたるわらわると

春の風がフキトキタルト

早春

早春トハ春タチチニ三日ノウチヲ云

氷銷田垌盡誰誰志松深柳眼低

先遣和風新消息續為啼鳥流氷

東岸西岸柳連葉石同有枝

春東ヨリ來レハ池ノヒガレノ岸ニテ柳ハヤククメクムゾノ目チタカアタカナド。梅モ西ノエダハ







飲酒家花處多管領上陽春

春ハウタラウタニ酒ラモテアケブラ家ニスニ花モ処ニサカクニカバ我ヒトリ春トラモフテムナク上陽ノ春ヲ

心秘瀟野桃日曝紅錦之榴門柳

山三野ニモモノ花サカリニラケテ。月ニカマクハ又タハリヒロキクチイニモヲササレニ似タリノ門ニアルヤナキ

溪岸柳風宛麴塵之線

マタキニアルヤナキ。風ニヒタケモキハキニタルイトラウケタルニ似タレトナリ

恙野屋委紅錦繡曲遊藏松生法

野ニ出テミレバイロクノ花サキナニキヌイ物ヲ。キムバカト下ノ天ヲミハ春ノイトウチニダレトウク。ウスマノアヤ

林中華花錦對翠葉天不遊總或

林ノウチノ花ノニキモ時ヲエチサクモアリ又ナルモノ。又天ヲハカニミハ春ノイトウチヲラクトヒテアルカトニハ

管欵夜月影思詩酒者風處情

セウラキキムシラウタヒトシテ。月ニカバ家ニシラモヒヨバ。詩ヲウケリ酒ヲクミ。春風ノカナル。トコロニナサケ

正月二月ハセチエホクイ上ナキ三月セチエモナク花モサキ世王太平ニカナレハサクラヲカサレテ

大ニヤ入イ上アリテ毎花ヲミテクニス上

拾遺 花サカリニイダク野山マテモ心アクカニ心シキヲ六我心ニテカ分リヒリヌサダメテタモ心シカ九人ハ

# 春夜

宵燭共憐深夜月 踏花回當共弄

上モレ火ヲカバノ影ハツケ友タチトモモシラモヒキニ夜ヲルニ三月ヲミル上ノ庭ニチリッモ花ヲラテ。友入トヲナレク











地海思魏文心既風流志之所

後訪小序云介

煙霞遠志

水成巴字初旨源起周年後書相

凝石逢月心竊倚素雲遠志

夜雨徐盈曾以眼新嬌曉

風流吹去暮心之生嘆

暮春

拂水柳花子言疏隔柳驚香

春ノスエ三柳ノ千方モレゲリテ池ノ上ニタリカク水ヲハラフ申ニウケス...

暮春 三月ヲ暮春ト云 又三月ノスエヲ云

西王母ガソノ桃ノ三千年ニ及ビ花サキニナルトノクモ...

夜雨徐盈曾以眼新嬌曉

風流吹去暮心之生嘆

凝石逢月心竊倚素雲遠志

水成巴字初旨源起周年後書相

煙霞遠志

後訪小序云介

地海思魏文心既風流志之所



任翅沙鷗湖為曉紅練野可尋  
野ニイハユル馬ノハルヤリイカモハウホニキヲルカカキガコトキヒキトキ春ノ空ニイトヤウチルモノカヤキハニヤ

人更故時須惜年  
○老タルサラニ立カハニアワカクナルトモヒカガ日月ノヤクスクルヲラシムトニ一年トイヘ尼春ヲミテアル春ヲミテアル酒  
空ニウセマシテ春ヲモテアルト

刻句不知日好應是几處寄何  
劉氏自氏ニ人ニモレ知セタラバ。○イツノ処ヲカ春ヲケキヨトハウヲセシ此遊宴ノ如クソイハント  
○イタツラニクラス月日ハナニトモホエススクルヲホケレド。花ニル春ハスクキヤハ。ヲホルト

三月盡  
三月晦日ヲ云リ

留春  
春ノクシユクナコリヲラシメトムレ上ニテサア春モカヘリツキテ人モ野山ニ出テアソブヲモケレハモサヒキト

風起花蕭索  
カセヲイヘ尼風ノ心サタミラカセ吹アレ花チリヲコエモサヒキナリタルトセ

竹院  
竹ノヲホクアル所ニ君ハ竹ヲ愛ヒテ春ノ水キ日ヲクらし玉アガ。我ハヒタスラ花アル所ニ酒ヲ愛ヒテクレク春ヲラクルト

惆悵  
○春ノナコリシイニミヲモト春カツテクカヘバソイテトエヌト。ハフサキフチノケキモイハレガヲモレロケレド春モイヨノトニ  
ラスヒテ三月ツモリモヤクシムルト

春不肯動  
○人ノカハルヲクシハ。舟ヤ車ヲモチユド春ヲラクルルニ  
スナハチ春ヲクニテハアルト

長使新花知我  
○ヨイ一夜ハ此詩人ノ家ニ春モ上リチアニスルモノト



留書子句 漢城園花 為 風多會  
○人ヲトアルニハ開クニエドレテフキトム春ヲトアルハ開クニエトバハ花ハ風ナリ鳥ハ雲ニ入テアトモトメト

花のよきとけり  
○花ヲモフコトハイツトケドモケバカリトモフ春ヲバコトニ立カヘリガタキ花ノケガト

けふもあられり  
○花モコトクチリハ春モトミラサビトキ宿ハ入ルニテアタルルサトクニテクニ春ノフル里ナリスヘキト

我が方に  
○クシテ春モ又來年ハキタルケドトモナカラシトタカニタノレス我身ナドヒトホ春ノワカレキト

三月

今も園を春二月 割金 清月花  
史記ノ天官書ハ黃帝ノ閏餘ヲ正レテト三ハタリ 堯典ニハ堯ノ御代ヨリ閏月ヲ置ハシタメリト

清 諸 秋 雪 更 還 百 枝 孤 雪 海 宿  
○ハシメノ三月晦日春モチキリをトシテ谷ニ及ルニテハ春モチキリをトシテ雲路ヲチヤスラコト

林 草 蝶 之 翩翩 於 月 之 花  
林ノ花ニタカフル蝶ノ春ハカヒリトチヤカケラサナリハ春モチキリニ有テ立カヘリ閏一月又花ヒルカヘリタカフルト

花 悔 由 根 世 昔 悔 鳥 跡 今 昔 之 如 期  
○花ノ春クヒトチヤカケラサナリハ春アリトキチヤカケラサナリトシテカチキチヤカケラサナリトシテ思危閏月アリトキチヤカケラサナリト

人のこころ  
○サクラ花ハツチ春ハ云ラニ交開三月ノ年トシテ人ノ心ヲカサテイハルコトトモナリト

鳥



あかり 十とひ さいて ちうしん まりかじと ういじ しまひて いんありたか  
鶏 沈 鳴 忠 臣 侍 忠 篤 志 遺 跡 志 名

ニトリ 眺カケイノキナクハ忠臣ノ夜カクヲキチクノ空ヲウヤウヤシクモクモクニ見ラ出ルハ賢人山ニコリテ世ニツクヌキテアルトシ

作 如 柳 樹 鶯 啼 羅 幕 幕 下 世

タリウ ソダノ 一ゆにう ういじ さいて

後 中 花 堂 夢 覺 珠 箔 葉 卷

イシノ所ノ花ノ中ニヤミドリトカカキユサチクククテ声ノ夜ヲカシテモ久カシラニキアゲヌキアルト

因 勢 之 鶯 鳴 為 妙 葉 卷

アサキ キリンノ中ニウグヒスノ声カスニテクニシテハ春ノキエトシメドバチサウカチニハ出ルモ葉ノワカニカキテ

看 頭 之 酒 客 呼 客 吹 笛 池

チチホトリニウグヒスノチチキナガノ酒ヲススミテ人ヲヨクサシト水ニチリモク。情クヌル風カ油ヲアラ

鶯 聲 誘 了 未 花 下 草 多 拍 笛 池

ウグヒスチクコトニ 居テ目ヲククサトナリ

威 同 於 於 求 離 鴻 在 乃 復 春 傳

ウグヒスノコトトモノコエラ 管絃ノコエモトムレバ 龍ノ吟 魚躍ト云 笛ノ曲ノ相ニシハルコトニシテ

會 賓 氣 之 紛 混 純 吟 色 澤 佳 曉 啼

ウグヒスノコトトモノコエラ 管絃ノコエモトムレバ 龍ノ吟 魚躍ト云 笛ノ曲ノ相ニシハルコトニシテ

世 姑 之 神 指 收 情 捲 礼 亦 垂 眉 目 良

ウグヒスノコトトモノコエラ 管絃ノコエモトムレバ 龍ノ吟 魚躍ト云 笛ノ曲ノ相ニシハルコトニシテ

簪 頻 動 頰 目 闌 才 新 花

ウグヒスノコトトモノコエラ 管絃ノコエモトムレバ 龍ノ吟 魚躍ト云 笛ノ曲ノ相ニシハルコトニシテ









あさひはけりしとてこひにほれしをよむるも  
さし出れ日かケミ子ノ雪モムラクキエスレカヌミタチキウキチキ春ノケキモイカニユルト  
しる乃露ハトウカハミヌキヤウリ

雨

或垂花下惜惜墨子愁对床  
らんキ花ノケイタリタル春雨花ノケイタリテ墨ニタツ見テ思フ花ノイロニトウキカトカノ墨子ガカケシト  
ひんの あつに あんよこん

鬢间暗動羞即思  
ひんの あつに あんよこん  
羞即思  
江以言 或都在中

長樂鐘於花外也龍池物色亦  
漢高祖ノ長樂宮ノカ子ノ豆ハ遠クモヒキテ花ノコエヲモテキト  
龍池ト云イケノ柳ノイ尺春雨ニツメラレテミドリ  
色ノカクニユルト

春得身在花父母洗來寧難未忘  
花ノ雨ヤトヒラエテ生長ハ雨ヲツカラ花ノハナリトツ  
雨ハクスリク君ヲモ臣ヲモキハスヒトノフリノキカケルホス

花新罕日初酒園馬馬得為羞  
花ノニツサキソムルハ春ノ朝日ノタカナルニツルガヒエラスト  
春モツキ鳥谷ニカハル夕暮ニ雨ノ時ト  
昔三郎

斜倚暖風先解帶  
春ノコサタヨサニハハ氣風ノツツキサソトゴト  
夜ノ雨ノクラキコエハ朝ノ日カケノミダハレヌホト

さあさあさあさあさあさあさあさあさあさあ  
さくらモサキマスヤト。タツス折レ雨フリキヌ花エナシハ同ジハヌル。花カケニカクテ雨ヤドリセト  
わかあさあさあさあさあさあさあさあさあさあ

春柳此之  
ヤナキノモタニツリマリタル春雨ノツユサナカライトヲ以テツラヌケル玉カトニユルト  
しる乃露ハトウカハミヌキヤウリ



梅 付紅梅

白梅の花は白く枝は赤く落葉は水に沈み白く花は赤く  
白梅の花は白く枝は赤く落葉は水に沈み白く花は赤く

梅花は香気高く花は白く枝は赤く落葉は水に沈み  
梅花は香気高く花は白く枝は赤く落葉は水に沈み

青練珠山 陶白梅 玉装成 度嶺梅  
青練珠山 陶白梅 玉装成 度嶺梅

五嶺 上云五嶺 梅花は香気高く花は白く枝は赤く  
五嶺 上云五嶺 梅花は香気高く花は白く枝は赤く

唯之香多 玉装成 度嶺梅  
唯之香多 玉装成 度嶺梅

いかにや 梅花は香気高く花は白く枝は赤く  
いかにや 梅花は香気高く花は白く枝は赤く

わさせこ 梅花は香気高く花は白く枝は赤く  
わさせこ 梅花は香気高く花は白く枝は赤く

梅花は香気高く花は白く枝は赤く  
梅花は香気高く花は白く枝は赤く

梅花は香気高く花は白く枝は赤く  
梅花は香気高く花は白く枝は赤く











多御此もよみとわつらんを  
けりぬのらふと久まらりもれ  
毛捕

# 花

花明と花粧  
○漢武帝ノ上林苑ノ花分リノ六日手車ヲ東西ニテ九重ノ上ニテ官人ノ行チカニイノカキマシ。又ガカカカ  
○漢武帝ノ上林苑ノ花分リノ六日手車ヲ東西ニテ九重ノ上ニテ官人ノ行チカニイノカキマシ。又ガカカカ

山斜月  
○山ノカニサケクコロカタタ月ノカケノ岩ノカケチラ照シタル中ニサヒキケシキト  
○山ノカニサケクコロカタタ月ノカケノ岩ノカケチラ照シタル中ニサヒキケシキト

池邊深  
○池ノカニサケクコロカタタ月ノカケノ岩ノカケチラ照シタル中ニサヒキケシキト  
○池ノカニサケクコロカタタ月ノカケノ岩ノカケチラ照シタル中ニサヒキケシキト

花  
○ハルカニワタシテ人ノ家居ニ花ノ付タル所ニハハルカニモトテ入リテモトニ貴モトニモトモトモ  
○ハルカニワタシテ人ノ家居ニ花ノ付タル所ニハハルカニモトテ入リテモトニ貴モトニモトモトモトモ

花  
○花ヲモトニ作リ日ニガ年風ニガ年テ高キ枝水ニワタシキカキ手花ナキツフ万ツク玉ノコトニモト  
○花ヲモトニ作リ日ニガ年風ニガ年テ高キ枝水ニワタシキカキ手花ナキツフ万ツク玉ノコトニモト

花  
○花ヲモトニ作リ日ニガ年風ニガ年テ高キ枝水ニワタシキカキ手花ナキツフ万ツク玉ノコトニモト  
○花ヲモトニ作リ日ニガ年風ニガ年テ高キ枝水ニワタシキカキ手花ナキツフ万ツク玉ノコトニモト

花  
○花ヲモトニ作リ日ニガ年風ニガ年テ高キ枝水ニワタシキカキ手花ナキツフ万ツク玉ノコトニモト  
○花ヲモトニ作リ日ニガ年風ニガ年テ高キ枝水ニワタシキカキ手花ナキツフ万ツク玉ノコトニモト

花  
○花ヲモトニ作リ日ニガ年風ニガ年テ高キ枝水ニワタシキカキ手花ナキツフ万ツク玉ノコトニモト  
○花ヲモトニ作リ日ニガ年風ニガ年テ高キ枝水ニワタシキカキ手花ナキツフ万ツク玉ノコトニモト







初踏花相傳書鳥の心  
○春花の口は毎日朝ヨリ花をルヲ冬ニ入ト交テテ出アソカ日クハ鳥ノカト同ト時ニカレト  
○アケカクニウクヒスモコエニ

春花の口は毎日朝ヨリ花をルヲ冬ニ入ト交テテ出アソカ日クハ鳥ノカト同ト時ニカレト  
○アケカクニウクヒスモコエニ

春花の口は毎日朝ヨリ花をルヲ冬ニ入ト交テテ出アソカ日クハ鳥ノカト同ト時ニカレト  
○アケカクニウクヒスモコエニ

春花の口は毎日朝ヨリ花をルヲ冬ニ入ト交テテ出アソカ日クハ鳥ノカト同ト時ニカレト  
○アケカクニウクヒスモコエニ

春花の口は毎日朝ヨリ花をルヲ冬ニ入ト交テテ出アソカ日クハ鳥ノカト同ト時ニカレト  
○アケカクニウクヒスモコエニ

春花の口は毎日朝ヨリ花をルヲ冬ニ入ト交テテ出アソカ日クハ鳥ノカト同ト時ニカレト  
○アケカクニウクヒスモコエニ

春花の口は毎日朝ヨリ花をルヲ冬ニ入ト交テテ出アソカ日クハ鳥ノカト同ト時ニカレト  
○アケカクニウクヒスモコエニ

春花の口は毎日朝ヨリ花をルヲ冬ニ入ト交テテ出アソカ日クハ鳥ノカト同ト時ニカレト  
○アケカクニウクヒスモコエニ

春花の口は毎日朝ヨリ花をルヲ冬ニ入ト交テテ出アソカ日クハ鳥ノカト同ト時ニカレト  
○アケカクニウクヒスモコエニ

春花の口は毎日朝ヨリ花をルヲ冬ニ入ト交テテ出アソカ日クハ鳥ノカト同ト時ニカレト  
○アケカクニウクヒスモコエニ

春花の口は毎日朝ヨリ花をルヲ冬ニ入ト交テテ出アソカ日クハ鳥ノカト同ト時ニカレト  
○アケカクニウクヒスモコエニ











夏の夜

風吹枯木鳴て夏月照赤夏夜露

風生竹葉急る月暗松河卷上り

空老雲雨管夜凄涼更初

夏の夜子スミタレトイハハ物ヲ思ハヌン

端午

五月五日ノ名ナリ端午ノ字ハ

五月五日ノ名ナリ端午ノ字ハ







あはれとて秋の風  
しづかにいつてきて  
すき

まのうらのいし井の  
あまのこしひらり  
あまのこしひらり

# 晩夏

竹影の合宿  
水檻風涼待秋

夏はつらあはれ  
いしとすん

# 花梅

梅子の色  
梅の花

枝葉金鈴  
花は金鈴

五月の子  
花は金鈴



蓮

風荷老葉青條綠水碧殘花未盡紅

葉展新翻尚初月花開未及看風

煙穿翠扇風曉水紅白露沾

岸竹枝低燕鳥有深草初見

良詩集

卷二

白

細何更竟莫心再使是去未離花  
源 經云法蓮花上云題目ナリ又佛ノ青蓮ノ御眼ニタ上タリノ方バヒリスモ手ハ花ノナカニモ善根ヲウケルモ

今ハチス葉水ノヨリモヒス心ヲモツテナドテツバ玉トミセテ人ヲアサムクソト  
今ハチス葉水ノヨリモヒス心ヲモツテナドテツバ玉トミセテ人ヲアサムクソト

郭

一夢已驚外可疏水當村草中

山ホトキスノ声ヲ明カタク雲ノヨソニタツ子

月水集

卷二

謝



八月やとあふは...  
○サツキヤミノ...  
アスカノ...

山経...  
○ホト...

人...  
○子...

管

管...  
○ホタル...

葛...  
○ア...

明...  
○強...

美...  
○キ...

山...  
○山...

草...  
○草...







扇

盛夏之清風也 暑氣消去 涼風吹來 此扇風了 權

生手裏花月入懷中 又扇月一モ夕上タ月ヲトコロカクニ入タルヲチリトツ

月ハ夜イッルモノチ扇ノ月夜ニ入ルラニ夕イツモ出ルトクニ夕月ハ秋ニモテアズバ扇ノ月ハ秋風イニカスル 菅三郎

拾遺 扇ノ河ノ川風ヲ主ニスレカバケレバタニコノ扇ヲナラカサシトニ 中務



